

氏名

点数 点/100点

各論演習 36-1

問1)

P社は、×1年3月31日にS社の発行済議決権株式の80%を80,000円で取得し、支配を獲得した。×1年3月31日現在におけるS社の財政状態と、×2年3月31日現在におけるP社およびS社の貸借対照表は次のとおりである。なお評価差額に対する税効果会計および資本剰余金から控除する法人税等の計算にあたっては法定実効税率を30%とし、のれんの計上年度の翌年から20年間で均等償却を行う。これらの事項にもとづいて×2年3月31日現在における連結貸借対照表を作成しなさい。

×1年3月31日現在におけるS社の財政状態

諸資産	諸負債	資本金	利益剰余金
190,000円	100,000円	50,000円	40,000円

S社の諸資産の時価は210,000円、諸負債の時価は110,000円である。

貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

資産	P社	S社	負債・純資産	P社	S社
諸資産	320,000	210,000	諸負債	160,000	115,000
S社株式	60,000	-	資本金	100,000	50,000
			利益剰余金	120,000	45,000
	380,000	210,000		380,000	210,000

S社の諸資産の時価は230,000円、諸負債の時価は120,000円である。なお、S社は当期に配当を実施していない。P社が×2年3月31日に所有するS社株式の4分の1（20%）を21,000円で売却した。

解1)

連結貸借対照表

×2年3月31日

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
諸資産		諸負債	
のれん		繰延税金負債	
		資本金	
		資本剰余金	
		利益剰余金	
		非支配株主持分	